日本郵船株式会社

2014 年 8 月

2015 年 3 月期第 1 四半期決算説明会　質疑応答の要旨

【定期船事業】

Q1 北米航路に関し、荷況は強い一方、前年度比で運賃市況があまりよくないということですが、その理由を教えてください。

A1 需要は確かに強いですが、大型船のカスケードダウンの影響により、運賃状況はあまり安定しておりません。ただ今後に関しては、北米東岸・西岸共スペースはタイトであり、運賃レベルは上がってくると考えています。

Q2 コスト削減に関し、第 1 四半期の達成実績を教えてください。

A2 第 1 四半期では、通期目標比 27%を達成しており、今後も順調に推移すると考えています。

【不定期専用船事業】

Q1 ドライバルク市況に関し、ここ数ヶ月は鉄鉱石の荷動きなども良いと聞いていますが、それでも下期予想を下方修正する理由を教えてください。

A1 確かに鉄鉱石の荷動きは悪くありません。中国の 1～6 月の鉄鉱石輸入は前年度比 19%増で、予想より多い荷動きでした。ただ、ケープ市況は足元低迷中のパナマックス市況に引っ張られていると見ております。一方で下期のケープ市況の見通しは、昨年同様、秋口以降需給バランスがタイトになると見込んでおり、市況の回復を期待しております。

Q2 パナマックス市況の今後の見通しについて教えてください。

A2 季節要因として穀物出荷には期待していますが、市場心理的には冷え込んでおり、前回よりもパナマックスの市況前提を下げざるを得ないところがあります。それでも下期は第 2 四半期に比べて上昇すると考えております。

Q3 タンカー市況の見通しを教えてください。また、今後のタンカー事業を中長期的にどう見ているか教えてください。

A3 全体的な供給は変わっておらず、需要は昨年と比べて 2%程度増えており、市況は今年もほぼ昨年並みに推移すると考えています。今後も、長期契約かつ弊社の投資基準を満たす案件があれば、取り組んでいきたいと考えています。